

第3回 金沢区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会 会議録	
日 時	平成27年3月23日(月) 14時00分～17時10分
開催場所	金沢区役所中庭2号会議室
出席者	選定委員：影山委員、新明委員、臺委員、長瀬委員、山岸委員、山中委員、渡辺委員 オブザーバー：吉田氏(財務有識者) 事務局：川崎福祉保健センター担当部長、倉持福祉保健課長、塩田高齢・障害支援課長、小松高齢者支援担当係長、石井事業企画担当係長、江口事業企画担当職員、櫻井事業企画担当職員
欠席者	なし
開催形態	公開 ※審査については非公開。
	<p>1 開会</p> <p>事務局より連絡事項</p> <p>倉持福祉保健課長より、次のとおり説明した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員7名中、7名出席で過半数を超えているため、委員会は成立していることを報告した。 ・今回の議事録署名人は山岸委員と山中委員に依頼し了承された。 ・傍聴人の申込みはなかったことを報告した。 <p>2 財務状況について</p> <p>石井事業企画担当係長より次のとおり説明した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回、審査した並木地域ケアプラザの応募法人横浜市社会福祉協議会の財務資料に訂正があった。委託費率について修正があったが、総合評価については変わらない。差替えの資料を配付する。 <p>すみなす会については、平成25年6月、8月に新規事業を始めたため、財務状況に影響があったと思われるが、「当面の経営には問題がない」と判断するB評価になった。</p> <p>同塵会については、「特に問題はない」との判断でA評価だった。</p> <p>神奈川県済生会については、前回の審査同様に純資産比率等で、低い数値が出ているが「当面の経営には問題がない」とするB評価となった。C評価の法人はなかった。</p> <p>委員長：オブザーバーとしての意見はいかがか。</p> <p>オブザーバー：すみなす会については、当期の収益がマイナスだった理由は分かった。来期以降どうなるか。経営者が、自覚して法人運営しているかがポイントになる。同塵会については、特に問題ない。済生会については、能見台地域ケアプラザだけで判断すると財務的には問題がなかった。</p>

3 ヒアリング・審査

(1)横浜市釜利谷地域ケアプラザ（社会福祉法人 すみなす会）

ア プレゼンテーション（20分）

イ 質疑応答（15分）

委員：提出頂いた財務データを見たところ、当期の財務が大幅なマイナスになっている。このことについて3点お伺いしたい。第1に当期のマイナスを理事は把握しているのか。第2に何が影響してマイナスになったのか。第3に今後の見通しはどうなっているか。

応募法人：理事には、中身を報告しており、承知している。原因としては、新会計基準へ移行したこと。労働基準監督署の指導で、残業代について追加で支払いを行ったこと、また、新規で事業所を開設したことが原因と考えている。今後は、利用者人数も伸びており、収益は改善する見込みである。

委員：自己育成シートは、最近始めたのか。

応募法人：他の職場では、試行的に実施していたが、釜利谷地域ケアプラザでは今年度から実施。

委員：広いエリアの中で、特に地域支援に力を入れている事を教えて欲しい。また、小学校や保育園との連携の中で力を入れている所を教えて欲しい。

応募法人：地域の中に出かけてニーズを拾ったり、事業の中で出てきた意見を参考にしている。小中学校との連携では、小学校3年生を職業体験として受け入れている。中学校との連携では、個別支援級の生徒を職業体験として受け入れた。保育園との交流では、園児の作ったカレンダーを毎月ダイルームに掲示している。

委員：障害のある方が、施設内でボランティアをしていると聞いたが具体的にはどんなことをしているのか。

応募法人：デイサービスで使うウエスづくり。館内の大掃除、クリスマスツリーの飾りつけ、会食サロンの際の食券作りなどである。

委員：市行政との連携について教えて欲しい。

応募法人：民と官の中間の立場できめ細かい対応をしていきたい。

ケアプラザの立場は、民間と行政の中間の立場。地域に近いケアプラザなので、行政には伝わりにくい小さな声を拾い上げやすい。区や地区社会福祉協議会（以下、地区社協）とのつなぎ役、潤滑油となるのが、ケアプラザの一番の業務ではないかと考える。

委員：地域づくり街づくりの観点で個別対応だけでなく、地域を面でとらえることについて伺いたかった。

委員：釜利谷クラブはいつから始まったのか。

応募法人：3年前から続けている。
委員：小学生と中学生、どっちが多いのか。
応募法人：今の時期は、中学生の方が多い。
委員：ボランティアの育成について具体的に説明して欲しい。
応募法人：ケアプラザではデイサービスでのボランティアなどが人気が高いが、関係を築く中で、当初の希望とは異なるボランティアを紹介したりしている。

(2)横浜市富岡地域ケアプラザ（社会福祉法人 同塵会）

ア プレゼンテーション（20分）

イ 質疑応答（15分）

委員：エリアの課題と住民ニーズの分析結果と対応策について教えて欲しい。

応募法人：高齢化率が高いエリアなので、住民同士の支えあいの担い手の部分について日頃から地域の方と話しあうようにしている。

地域包括支援センターとしては、健康寿命を延ばすため、平成20年から健康づくり教室を各町内会で実施した。一部が、元気づくりステーションに移行した。若手の担い手を発掘するために、地域支えあい連絡会で、様々な人に参加して頂き、検討を重ねている。

委員：法人が運営している他のケアプラザと職員の人事交流などはあるのか。

応募法人：職員同士の勉強会を実施している。他のケアプラザの事業を手伝う際にも、専門職同士の視点で意見交換したりすることで活かしている。

委員：担当エリアの中で、ケアプラザの存在を知らない方が、いるようだが、どのように伝えていくのか。また、法人の設備職員の役割について教えて欲しい。

応募法人：富岡第一地区の方で、小中学校圏域が別のため、富岡小学校の近くと伝えても分かりにくいことがある。山坂を超えて行く場所なので、こちらから出向くようにしている。

法人の設備職員は、法人本部にいる電気工事などの資格を持った職員。簡単な修繕や、点検などを行ってもらっている。また、職員に修繕方法を指導している。見積もりや、契約内容についても確認することで、適正な契約になるようにしている。

委員：総合相談の内容について、多い順番から教えて欲しい。

応募法人：介護保険に関する相談が約7割。高齢夫婦の認知症に関する相談が多い。

委員：高齢者関係以外にもあるのか。

応募法人：精神障害、パーソナリティ障害に関する相談は傾聴を中心に行っている。

委員：特別避難場所の開設準備については、どのように進めているのか。
応募法人：区役所から、開設の指示を受けた想定で、応急備蓄庫から物品を出して、区割りするなどの訓練を実際に行った。訓練の経験を踏まえて、物品を鍵のかかる部屋に移すことにした。

委員：平日、休日、夜間など想定して訓練をやっているのか。
応募法人：震度 5 強の地震が市内で発生した場合は、身の安全を確保した上で、全員参集することになっている。夜間を想定した訓練はまだ行っていない。

委員：ネットワーク構築について、今年度子育て世代とシニア世代で新たなネットワークの構築を図ったと書かれているが、具体的にはどんなことを行ったのか。

応募法人：子育て世代のグループからは、シニア世代の方に見守りをしてもらいたいが、シニア世代の方の子育ての価値観は押しつけられたくない。また、シニア世代の方からは、子育て世代の方達の考え方がわからないとの声があったので、子育てサークルの代表の方、子育て支援を手伝いたい方などに一堂に集まってもらい、支えあい連絡会の中で意見交換を行った。今後、具体的に交流を図っていく予定である。

(3)横浜市能見台地域ケアプラザ

(社会福祉法人 恩賜財団済生会神奈川県支部)

ア プレゼンテーション (20 分)

イ 質疑応答 (15 分)

委員：若い世代が多い地域、シニアが多い地域などにわかれているとの話だが、相談内容の内訳はどうなっているか。また、介護予防の人数が減っているのはなぜか。

応募法人：相談は、高齢者が主な対象。介護保険に関わる相談が 8 割。当人よりも、家族からの相談が多い。介護予防の人数については、要支援から要介護に変更になった人が多かった。居宅での介護予防プランの作成件数については、ケアマネージャーが 1 名減ったため受けられる件数が減った。

委員：子育て世代、障害者世代に対してどのような周知を行っているのか。

応募法人：開設 14 年で地域には周知されてきたと感じている。各連合町内会に協力してもらい、広報誌を回覧したり、掲示板に貼ったりしている。昨年 12 月にホームページを作成し、周知に努めている。

委員：ここ数年コーディネーターが頻繁に変わっている。コーディネーターは地域の顔なので、変わることを影響は大きい。職員の雇用が 1 年契約と聞いたが、その辺りが影響しているのか。

応募法人：法人の雇用は、1 年契約だが更新を前提としている。今は、コーディ

ネーターが産休で休んでいるため、代替の職員を雇用した。事業に支障がないように、サブコーディネーターを1名増員した。

委員：済生会としての職員育成計画はあるのか。

応募法人：同法人の六浦地域ケアプラザとは情報交換を密にしている。法人は全国組織なので、専門職研修などについては、職員を派遣している。また、市内の4か所のケアプラザで連携を図っている。採用については、各施設毎の採用なので人事交流などは行っていない。

委員：子育て世代が多い地域。様々な事業を行っているようだが、近隣の子育て支援拠点や、障害者地域活動ホームなどと連携を図っているのか。

応募法人：相談の内容によっては、必要に応じて各機関に繋いでいる。

4 審査結果

ア 釜利谷地域ケアプラザ

社会福祉法人すみなす会

合計評点 1052.4 点 (1400 点満点) 評点率 75.17%

60%以上を満たしているため指定候補者とする。

イ 富岡地域ケアプラザ

社会福祉法人同塵会

合計評点 994.2 点 (1400 点満点) 評点率 71.01%

60%以上を満たしているため指定候補者とする。

ウ 能見台地域ケアプラザ

社会福祉法人恩賜財団済生会神奈川県支部

合計評点 996.4 点 (1400 点満点) 評点率 71.17%

最低基準を満たしているため指定候補者とする。

委員長：今回の結果を踏まえ、上記3施設の次期指定管理候補者について区長に推薦する。

委員長：各指定管理者に対して伝えたいこと等ありますか。

委員：プレゼンテーションは所長や現場の職員が話した方が、運営の実態がよく伝わる。

委員：プレゼンテーションの人選は区役所が行っているのか。

事務局：人選は、応募法人に任せている。会場の関係で、出席者は3人とさせてもらった。

委員：釜利谷地域ケアプラザは、地域に対して丁寧に対応しているが、目先の事にとらわれすぎているように感じた。

委員：連携をしている、連絡会を行っているといっても、顔見せ程度で終わっていることもある。法人には、もっと意識を持って取り組んでほしい。

委員：顔の見える関係づくりから、もう一步踏み込んだ関係づくりに取り組んでほしい。

委員：今後 5 年間の運営を任せることになる。毎年、事業実績評価をしているとの事だが、各施設の自己採点が高い。実際の利用者の声が反映されていない気がする。利用者の声が、反映できるシステムができればいいのだが。

委員：利用者のニーズの拾い上げが偏っている気がする。年齢層、対象など幅広くニーズを拾い上げて欲しい。

委員：能見台地域ケアプラザでは、前任のコーディネーターからの引継がほとんどなく、後任のコーディネーターが事業を行っていた。もう少し丁寧に引継をしてほしい。

委員：六浦地域ケアプラザも、ケアマネージャー退職する際に、引き継ぎが十分にされていなかった。

委員：資料が多くわかりにくい。5 段階評価の 3 が標準といっても、何が標準なのかがわからない。横浜市全体が、同じ基準なのか。

事務局：横浜市全体で共通の書式である。

委員：自分の住んでいるケアプラザについては、良くわかるが、他の地区についてはわかりにくい。他の地区の役員などにも聞いた結果で評価した。

委員：全体的にプレゼンテーションも含めて事務的な印象を受けた。各法人の資料やプレゼンテーションも千差万別なのかと思ったが似通っていた。

委員：時間外手当の不支給についてなど、法令違反をチェックするような機能を選定委員会では持っていない。コンプライアンスのチェック機能をどこで持つか、検討することが今後の課題ではないか。

5 その他

倉持福祉保健課長より次のとおり説明する。

- ・正式な決定は、9 月の第 3 期市議会で議決後となるが、その前に、応募法人には事前に結果を伝えていく。
- ・今回の第 3 期指定管理者選定委員会は一旦終了となるが、委員の任期は 2 年間なので、この間に再度、指定管理者の選定が必要になった場合は、委員の方に連絡することを説明した。

資 料	<ol style="list-style-type: none">1 第3回金沢区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会 次第2 各法人応募書類3 地域ケアプラザ事業実績評価（平成23年度～平成25年度）4 横浜市金沢区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会委員名簿5 金沢区地域ケアプラザ等指定管理者の評価基準及び審査方法について6 財務分析結果報告書
-----	---